

コニカミルタグループ算定基準(CO₂排出量)

対象範囲と算定基準

ライフステージ	算定方法	
1.調達	1)対象範囲	情報機器 ¹ および消耗品、オプト製品 ² 、ヘルスケア製品 ³
	2)算定基準	情報機器および消耗品については、販売数量や生産数量に、産業環境管理協会のエコリーフ環境ラベルの公表値等から推定された排出原単位を乗じ、その他製品については、資源投入量に排出原単位を乗じて算出しています。
2.生産/ 研究開発	1)対象範囲	全世界の生産・研究開発拠点
	2)算定基準	各拠点のエネルギー使用量に、以下の係数を乗じて算出しています。 燃料：地球温暖化対策推進法(温対法)に規定される係数 電気：<日本>電気事業連合会が公表する2005年度全電源平均値 <海外>GHGプロトコルが公表する各国の2005年度CO ₂ 排出係数
3.物流	1)対象範囲	情報機器、オプト製品、ヘルスケア製品に関する、国際間物流、日本国内物流、中国生産物流(工場から港まで)
	2)算定基準	主に貨物重量に輸送距離を乗じ、その値に輸送手段別のCO ₂ 排出係数を乗じて算出しています。 ⁴ 国際間物流、中国生産物流：GHGプロトコルが公表するCO ₂ 排出係数 日本国内物流：ロジスティクス分野におけるCO ₂ 排出量算定方法共同ガイドラインVer.3.0に規定される係数
4.販売・サービス	1)対象範囲	全世界の主要販売会社
	2)算定基準	<オフィス> 主要拠点のエネルギー使用量(一部拠点のデータについては推定値を含む)に、以下の係数を乗じて算出しています。 燃料：地球温暖化対策推進法(温対法)に規定される係数 電気：<日本>電気事業連合会が公表する2005年度全電源平均値 <海外>GHGプロトコルが公表する各国の2005年度CO ₂ 排出係数 <車両> 車両用燃料の使用量に、以下の係数を乗じて算出しています。 燃料：地球温暖化対策推進法(温対法)に規定される係数
5.製品使用	1)対象範囲	情報機器およびヘルスケア製品 オプト製品については、他社製品の一部として組み込まれるため、除外しています。
	2)算定基準	市場稼働台数(年度ごとの販売台数と製品寿命から推計)に、想定される機種ごとの年間電力消費量とCO ₂ 排出係数(GHGプロトコルが公表する2005年度全世界平均値)を乗じて算出しています。 情報機器は国際エネルギースタープログラムに規定されたTEC値、ヘルスケア製品は製品仕様等に基づいています。

1 情報機器：コニカミルタビジネステクノロジーズ(株)が製造・販売する、複合機、プリンター、印刷用機器など

2 オプト製品：コニカミルタオプト(株)が製造・販売する、ピックアップレンズ、TACフィルムなど

3 ヘルスケア製品：コニカミルタエムジー(株)が製造・販売する、医療画像診断システムなど

4 事業会社間で物流CO₂排出量算定方法を統一するために、用いる距離データを変更しています

なお、四捨五入の関係で、グラフの数値の合計と内訳が一致しない場合があります

コニカミノルタグループ算定基準(CO₂排出量以外)

対象範囲と算定基準

算定項目		算定方法
1.製品への石油由来資源投入量	1)対象範囲	情報機器および消耗品、オプト製品、ヘルスケア製品に使用する素材・部品 ^{※1}
	2)算定基準	製品仕様等に基づいて、素材・部品重量に材質ごとの石油由来資源使用重量比率を乗じて算出しています。 ^{※2}
2.包装材料の使用量	1)対象範囲	情報機器および消耗品、オプト製品、ヘルスケア製品の包装に使用する素材・部品
	2)算定基準	販売実績に基づく製品の販売台数に、各製品1台当たりの包材重量(製品仕様等に基づく)を乗じて算出しています。
3.生産活動からの外部排出物量	1)対象範囲	全世界の生産・研究開発拠点
	2)算定基準	生産外部排出物重量 ^{※3} の実測値の合計
4.VOCの大気排出量	1)対象範囲	全世界の生産拠点のうち、環境影響度指数 ^{※4} 1ポイント/物質以上の物質を対象として、計算された個々の物質の環境影響度指数の総和が10ポイント以上となる拠点
	2)算定基準	VOC大気排出の環境影響度指数の総和 ^{※5}
5.取水量	1)対象範囲	全世界の生産・研究開発拠点
	2)算定基準	取水量(上水道、地下水、工業用水)の合計。

※1 中期環境計画と環境負荷の全体像の数値では、一部対象範囲が異なります

※2 消耗品および機器オプションのデータについて、一部推定値を実績値に基づくものに変更しています

※3 生産・研究開発拠点で生じる、コニカミノルタに排出者責任のあるすべての排出物(廃棄物等)のなかで、コニカミノルタの拠点外に排出される量。ただし、生産との関連のない排出物等は一部除外しています

※4 環境影響度指数：コニカミノルタ独自の指数。

環境影響度指数(ポイント)=VOC大気排出量(t)×有害性係数×立地係数

有害性係数：直接的または間接的な、人への健康影響および環境影響の重篤度により、1倍、10倍、100倍で設定(神奈川県
安全影響度評価における係数の考え方を参考に、コニカミノルタが独自に設定)

立地係数：工業団地外5、工業団地内1で設定

※5 環境負荷の全体像では、有害性係数や立地係数を加味しないそのままの大気排出量を記載しています

※ 中期環境計画で削減目標がある石油由来資源の使用量は、①製品への石油由来資源投入量、②生産活動からの外部排出物量のうち石油由来資源廃棄物量、③販売・サービス時の車の燃料使用量を合計して算出しています

※ なお、四捨五入の関係で、グラフの数値の合計と内訳が一致しない場合があります